

われらは南小学生



波佐見町立南小学校
学校だより No.7
令和4年10月3日(月)
文責：校長 藤井大作

自己肯定感を高めるために ～家庭・学校でできること～

「子供は親の思うようにならない」と、常日頃感じている保護者の方は少なくないと思います。私も、わが子の子育てに自信は全くありません。そんな私ですが、「これだけは・・・」と心がけていることがあります。それは、「子供の『自己肯定感』を大事にすること」です。

この言葉は、最近よくテレビや書物などで目にするようになりました。

「自己肯定感」とは、「『自分は大切な存在だ』と思える気持ち」「自分自身に対する満足感」「『自分だってやればできる』という気持ち」です。

こうした気持ちは、おだてたり持ち上げたりしても育ちません。かえって自己中心的でわがままな子供に育ってしまうかもしれません。「ほめ方にも工夫がいる。」ということなのでしょう。手伝いなど、家族や誰かの役に立った時に「ありがとう。」や「〇〇のおかげだよ。」など、タイミングを見計らった、本人の存在を認める声かけが好ましいと思います。

逆に、「自己肯定感」を低くしてしまう言葉もあるようです。3つ挙げてみます。

1. 「〇〇しなさい。」といった強要する言葉
(例：「勉強しなさい」「早くしなさい」)
2. 「〇〇はできたのに、どうしてあなたはできないの。」と他者と比較する言葉
(例：「お兄ちゃんはできたのに～」)
3. 「どうせできないでしょ。」といった否定する言葉
(例：「あなたは本当にダメな子ね」)

「強要、比較、否定」はしないということだと思います。まさに、「言うは易し・・・」ですが、御自身の子供時代を振り返ると、「そうそう！嫌だった！」と感じる部分ありませんか？私は、家庭では特に、「他者との比較で子育てしない」よう気を付けています。

さて、本校でも、さまざまな場面で、「自己肯定感」を高める取組を行っています。学校は集団生活の場ですから、学級の当番・係活動、児童会活動などで意図的・計画的に誰かの役に立つ活動を仕組んでいます。

また、「自分の考えを伝え、相手の考えを聞く。」ということも大事にしています。

- ・ 授業で、クラスや学年の仲間に伝え合う。
- ・ ICTを活用して、オンラインで伝え合う。
- ・ ゲストティーチャーや地域の方に伝える。

このような「伝え合う活動」は、「認め合い」につながり、やがて自分自身を「大切な存在」として受け止められる「自己肯定感」へと育っていくのではないかと考えています。

今後もうまくできるだけの工夫をして、生き生きとした「伝え合う活動」ができるよう努力します。

歯と口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール入選者の紹介

【図画・ポスター】

最優秀賞 渡邊 桜子 さん (6年)
入 選 坂上 遥希 さん (6年)
松本 心優 さん (6年)

【標語】

入 選 岩永 彩里 さん (1年)
田嶋 彩隆 さん (3年)
川原 愛唯 さん (4年)
高島 智弘 さん (6年)



※ 図画・ポスターの入選作品の巡回展が行われます。本校では17日(月)～21日(金)に行われます。

※ (この機会に・・・)

1学期の歯科検診で、「歯科医へ受診するように」というお知らせがあった方、むし歯は自然とは治りません。かわいい子供の健康のことです。ぜひ受診してください。

郡内夏休み作品展、郡内科学展 入選者の紹介

(作品展)

松本 采 さん (1年)
山下 稔人 さん (1年)
本郷 旦陽 さん (2年)
田代 禮大 さん (2年)
丸田 士翔 さん (3年)
佐久川琉斗 さん (3年)
中村康汰朗 さん (4年)
山田 大雅 さん (4年)
山下 蒼空 さん (5年)
渡邊 貴胡 さん (5年)
光野咲葉子 さん (5年)
内村 太地 さん (6年)
林 拓志 さん (6年)

(科学展)

近藤丈寿郎 さん (3年)
原 葵依 さん (4年)
石本幸志朗 さん (5年)
豊嶋 咲蘭 さん (5年)
高村 日葵 さん (5年)
前田 暁璃 さん (5年)
池尻さくら さん (6年)
原 悠司 さん (6年)
高島 智弘 さん (6年)
三岳 加林 さん (6年)
瀬戸口 煌 さん (6年)

※ ともにコロナ禍につき、展示会は行われないそうです。

ホームページの御案内

ホームページ内「学校生活」を開くと、日々の子供たちの様子を御覧いただけます。右のQRコードからお入りください。



波佐見町教育相談電話の御案内 (☎ 0956-85-3899)

波佐見町では、いじめや不登校などの相談に対応する専用電話が設置されています。何かお困りの時、だれにも相談できないという時などに御活用ください。

